

概 要 版

江南市新体育館建設基本計画

～誰もが気軽に健康づくりを楽しめるにぎわいと交流のスポーツプラザ～

平成 26 年 3 月

江 南 市

■計画策定の背景と目的

江南市民体育会館は、気軽に利用できるスポーツ・レクリエーション活動の拠点として昭和44年に開館し、40年以上もの長きにわたり多くのお客さまに利用され、親しまれてきました。しかしながら、経年による施設の老朽化や狭小であることなどにより、市民のスポーツ・レクリエーションの需要に十分に対応できない状況にあり、市民の皆さんからも施設の充実を望む声が多く寄せられてきました。

本市では、これまで、「江南市民スポーツ振興計画」(平成7年8月)において、新規施設として総合体育館の建設を盛り込むとともに、「江南市戦略計画(平成20年3月、平成23年に第一次改訂)」や「第2次江南市生涯学習基本計画」(平成24年3月)においても、新体育館の整備を重点事業の一つとして位置づけてきました。

そこで、現在の市民体育会館の建替えを行い、隣接する武道館やグラウンド、テニスコートと一体となったスポーツ・レクリエーションの拠点として整備し、市民の健康で豊かな暮らしづくりを応援することを目的として本基本計画を策定しました。

■幅広い市民のみなさんからの意見を踏まえた計画策定

計画の策定にあたっては、市民のスポーツ・レクリエーションへのニーズや利用意向を把握するため多様な方法により、幅広い市民から多くの意見を頂きました。

| 期 日 | 主な対象者 | 方 法 |
|---------------------------|--------------------|---|
| ◆利用者実態調査(アンケート調査) | | |
| H25/6/11-6/30 | 市民体育会館の個人利用者 | 市民体育会館利用時にアンケート調査を行い、現状の利用実態や新体育館への意向等を把握した。 |
| H25/7/28 | スポーツ推進委員など | |
| ◆スポーツ関係団体ヒアリング調査 | | |
| H25/6/28、6/30 | 市民体育会館の利用団体 | 複数の団体の関係者にお集まりいただいてヒアリングを行い、新体育館への要望や提案等を把握した。 |
| ◆新体育館検討のためのワークショップ | | |
| H25/10/19 | スポーツ関係団体 一般公募市民 | これまでの経過等の概要説明を行ったあと、ワークショップ形式で「アリーナ(競技場)」、「共用・会議室」、「個人利用」、「仲間増やし」について意見交換を行い、施設づくりのアイデアを把握した。 |
| ◆パブリックコメント | | |
| H26/2/1-2/28 | 一般市民 | 2月広報で実施の告知を行うとともに、HPや公共施設で計画案を公表し、閲覧していただいた上で意見を把握した。結果、13名の方から計44件のご意見をお寄せいただいた。 |

■新体育館整備の基本テーマ（コンセプト）

新体育館の基本テーマ（コンセプト）を以下のように定めました。

誰もが気軽に健康づくりを楽しめる にぎわいと交流のスポーツプラザ

基本テーマに込めた想い

■「誰もが」

大人や子どもも、高齢者や障害者も、男性や女性も、一人でも仲間（グループ）でも、スポーツを「する人」も「みる人」も「ささえる人」も、競技を志向する人も健康づくりやスポーツ・レクリエーションを志向する人も、そして新しくスポーツを始めたい人も、老若男女の誰もが主役であることを表しています。

■「健康づくりを楽しめる」

スポーツに親しむ市民のすそ野を広げるために、競技スポーツを振興するとともに、多様な市民が、自分らしく楽しみながら日常的に体を動かすことで、健康増進につながるような「スポーツ・レクリエーション」にも適応した体育館にしていくことを表しています。

■にぎわいと交流のスポーツプラザ

プラザとは、都市にある公共の広場（スペイン語）のことです。スポーツを「する」・「みる」・「ささえる」多くの市民がいつも集い、スポーツを通じた交流が自然に生まれるような広場にしていこうと表現しています。

さらに、プラザには、本市のスポーツ中核拠点（中心広場）としていくという意味合いも包含しています。



■新体育館の整備方針

多様な魅力や楽しみ方を提供できる施設づくりをめざし、以下のような整備方針を掲げます。

整備方針

1

「するスポーツ」に対応できる体育館 ～市民の日常的なスポーツ活動の拠点づくり～

江南市のスポーツ拠点施設として、市民のだれもが生涯にわたり、それぞれの体力や年齢、技術、趣味、目的に応じて、健康づくりから本格的な競技やスポーツに至るまで、多様なスポーツやレクリエーションに親しむことができる施設づくりをめざします。

整備方針

2

「みせるスポーツ」に対応できる体育館 ～練習成果を発揮するスポーツ大会開催のための施設づくり～

様々な競技団体における市民スポーツ祭や地方大会など、日頃のスポーツ活動の成果を発揮できる各種競技大会などの機会を提供できる場として、プレイヤーにとっても、大会を運営する側にとっても、また来訪される観客にとっても、便利で利用しやすい施設づくりをめざします。

整備方針
3

「みるスポーツ」に対応できる体育館
～観戦を通じて、スポーツの楽しさと感動を共有できる施設づくり～

市民にスポーツの楽しさと感動を与えてくれるようなスポーツイベントを開催することで、新たなスポーツ文化として応援をする楽しみを含めた「みるスポーツ」の市民への定着を図るとともに、「するスポーツ」に取り組む意欲や競技力の向上につなげるなど、スポーツ振興や市民の豊かなスポーツライフの確立をめざします。

整備方針
4

「ささえるスポーツ」に対応できる体育館
～スポーツを通じた市民交流の拠点づくり～

地域スポーツに取り組む様々なサークルや競技団体などが、日頃のミーティングや研修などに活用するとともに、お互いの活動内容や大会、イベントなどの情報交換を行うことで、スポーツをきっかけにして市民の交流を促進する地域コミュニティの拠点としての体育館をめざします。

整備方針
5

一人でも利用でき、仲間づくりの機会が得られる体育館
～一人でも気軽に楽しめる健康増進機能が充実した施設づくり～

トレーニングやフィットネス、軽運動など一人でも気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーション活動に取り組むことができる施設づくりをめざします。また、同じ楽しみや目的をもって集まった個人や団体などの様々な利用者が、施設の利用を通じて交流を深め、仲間づくりのきっかけを提供できるような施設づくりをめざします。

整備方針
6

**市民の誰もが訪れやすく、
江南市の新たなシンボルとなる体育館**
～便利で市民の誇りとなる施設づくり～

本市の新たなシンボルとして、市民が愛着と誇りを感じられるように、シンプルでありながらランドマークとなりうる質の高いデザインの体育館をめざします。また、子どもから高齢者まで様々な市民が日常的に施設を訪れ、スポーツや健康づくりをはじめ、仲間との談話や交流、休憩などにもふらっと立ち寄れるように、使いやすい駐車場や交通動線にも配慮した親しみが持てる施設づくりをめざします。

整備方針
7

人と地球環境にやさしい体育館
～ユニバーサルデザイン化と環境負荷の少ない設計による施設づくり～

誰もが使いやすい安心で安全な施設となるように、すべての世代の利用を見据えて、多機能トイレやエレベーターの設置、段差の解消などバリアフリーに配慮します。

また、太陽光パネルなどの自然エネルギーを活用し、環境に配慮した施設とするとともに、メンテナンスのしやすさや個別制御できる設備システムなど、将来の修繕計画にも配慮したライフサイクルコストを考えた施設とします。

整備方針
8

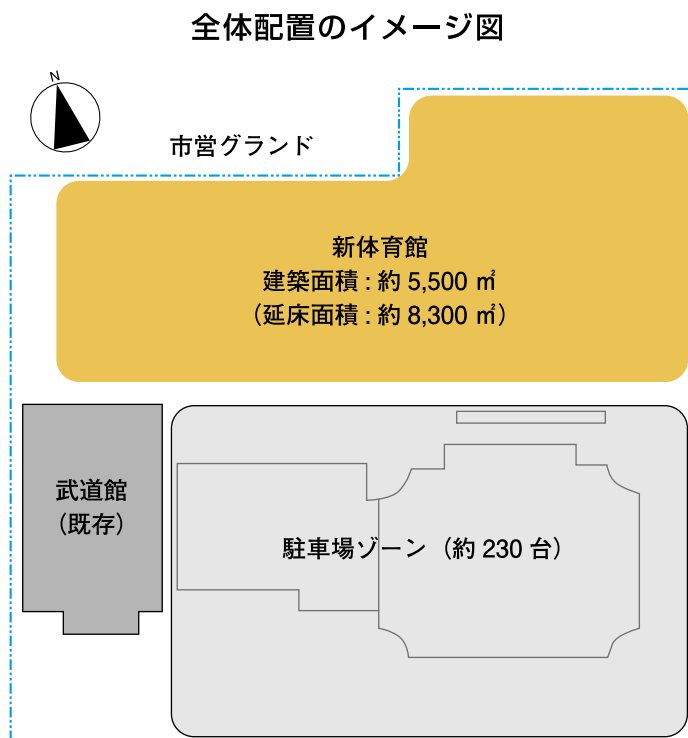
災害時の防災拠点施設としての体育館
～いざという時の防災活動機能を備えた施設づくり～

今後、東海東南海地震などの甚大な災害が発生した場合は、支援物資等の集積所やボランティアセンターなどの防災拠点施設として活用できるように、耐震構造の災害に強い施設整備を行います。これによって、災害発生時の市民の安心感につながる災害に強い地域づくりに寄与します。

■建設予定地と施設配置等のイメージ

新体育館の建設期間中に現在の市民体育会館の利用ができなくなることは、市民の屋内スポーツ活動に多大な影響を与えます。そこで、新体育館の整備が終了するまで、現在の市民体育会館は、できる限り現存のまま利用できるように配慮します。

このため、新体育館の建設敷地は、現在の市民プールの敷地約 6,000 m²を活用するものとします。また、新体育館の建物及び敷地全体の配置のイメージを示すと右図のとおりです。



■諸施設・諸室の規模と主な施設内容の考え方（施設整備計画）の概要

| 部門（区分） | 室名（施設名） | 規模や施設内容の考え方の要点 | 面積 |
|--------|---------|---|--|
| 体育施設部門 | メインアリーナ | <ul style="list-style-type: none"> ●公式規格のバスケットボールコート2面の規模とすることで、バレーボールコート3面が確保でき、しかも、公式規定のバスケットボール観戦を行うための仮設席の設置をはじめ、多目的な利用が期待できるようにするため、49m×38mの規模とする。 ●観覧席は、現在の市民体育会館と同程度規模の固定 1,000 席以上を確保することが望ましい。 ●ランニングコース(観覧席外側)を設置する。 ●天井高は、国際バレーボール連盟や日本バレーボール協会主催の試合の規格である「コートの表面から 12.5m以上」を確保する。 | 約 1,860 m ² （アリーナ部分のみ） ※バスケットゴールやネット及び支柱、体操関連の道具などを保管する器具庫・倉庫は含まない。 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●アリーナに隣接してガラス張りの会議室（大会開催時に主催者役員室や大会本部室、審判控室などとして活用）と医務室、放送室を設置する。 | 会議室 : 72 m ² 程度 |
| | サブアリーナ | <ul style="list-style-type: none"> ●バスケットボール1面（公式規格 28m×15m+バックヤード）38m×27m ●天井高は、メインアリーナと同様の高さを確保することが望ましい。 | 約 1,020 m ² |

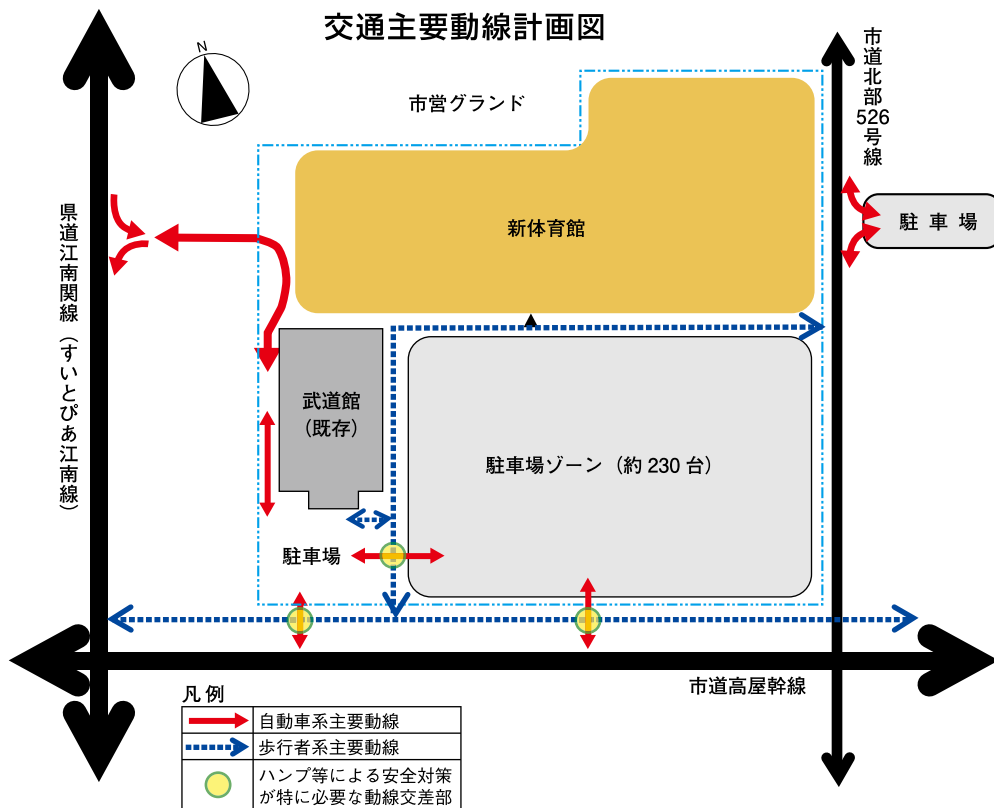
| 部門（区分） | 室名（施設名） | 規模や施設内容の考え方の要点 | 面積 |
|---------------------------------|------------------|--|--------------------------|
| 体育施設部門 | フィットネススタジオ（軽運動室） | ●ヨガ、太極拳、エアロビクス、ZUMBAなどのアクティビティのできる防音設備、音響設備のあるスタジオ | 約 280 ㎡（22.5m × 12.5m）程度 |
| | トレーニング室 | ●ストレッチエリア、ダンベル・バーベルエリア、筋トレマシンエリア、有酸素マシン（エアロバイクやランニングマシン）エリアで構成されるトレーニング室 ●トレーナーの事務カウンター | 約 340 ㎡（27.5m × 12.5m）程度 |
| | レクリエーション室 | ●卓球台が4台程度おける部屋 | 約 90 ㎡ |
| | 親子リズム室（キッズルーム） | ●託児や幼児の遊びや親子体操ができるスペースを専用室として設けることを検討 | 約 75 ㎡ |
| 会議室部門 | 会議室 | ●間仕切りによって3室に分けて使用できる会議・研修室 | 約 260 ㎡程度 |
| 利用者サービスに係る付帯施設部門 | 談話・交流・休憩スペース | ●談話・交流・休憩スペースは廊下・ロビーのコーナーに設ける | 適宜 |
| | スポーツ情報コーナー など | ●事務管理室付近の廊下・ロビーのコーナーに設ける | 適宜 |
| 事務・管理に係る付帯施設部門 | 事務・管理室 | — | 約 140 ㎡ |
| | スポーツ相談室 | — | 約 40 ㎡ |
| | 医務室、放送室 | — | 約 48 ㎡ |
| | 機械・設備室 器具庫 | ※空調・機械設備、エレベーターなど | 約 620 ㎡ （器具庫は含まない） |
| 防災関連施設・その他 | 防災備蓄倉庫 | ※災害発生時の応急・復旧及び広域災害発生時の応急・復旧支援に必要な備品・資機材の保管スペース（一部は、発災時の支援物資を一時保管するためのスペースとして、平時は別目的利用も可） | 約 200 ㎡ |
| | 非常用自家発電設備・貯水施設 | — | |
| 駐車場・駐輪場 | | ●駐車場：約 230 台（但し、体育館敷地内のみ） ●駐輪場：約 100 台 | |
| 延床面積 ※貯水施設、駐車場・駐輪場は含まない。 | | | 約 8,300 ㎡ |
| 建築面積 ※貯水施設、駐車場・駐輪場は含まない。 | | | 約 5,500 ㎡ |



■施設整備において配慮すべき事項

新体育館の整備にあたっては、自動車・自転車・歩行者の動線に配慮し、誰もが安全にアクセスできる環境を整えます。具体的には次の通りです。

- ◆周辺道路において渋滞や交通事故が発生しないよう適切な交通処理を行う。
- ◆周辺の居住環境に配慮するため、市道北部 526 号線には、新体育館を利用する自動車が極力入らないような自動車動線処理に配慮する。
- ◆西側の県道江南関線（すいとぴあ江南線）については、交通量が多いことからすいとぴあ江南方面に向かう車の右折進入や敷地内からの右折退出の禁止を検討する。
- ◆メインアクセスとなる敷地南側の市道高屋幹線からの右折進入や敷地内からの右折退出についても安全に行えるよう配慮する。
- ◆敷地内における交通動線については、歩車分離などにより自動車動線と自転車動線、歩行者動線が交錯しないよう安全に配慮した動線計画とする。
- ◆適切な規模・配置の駐車場・駐輪場を整備する。



■整備・管理運営の事業方式

現在の市民体育会館は、市が直接的に管理・運営を行っていますが、新体育館においては、指定管理者制度などを活用した「公設民営方式」を採用することを基本とし、施設の規模や機能などを踏まえ、利用者への良質なサービス提供と市の財政負担の軽減を実現できる効果的な方法を検討します。

その主な理由としては、①市のスポーツ振興政策を反映した施設整備、維持管理・運営が行いやすいこと、②運営面において民間事業者のノウハウを活用することで、サービスの質的・量的な向上や管理運営コスト削減が見込まれることなどがあげられます。

■施設運営の考え方

基本テーマとして掲げた「誰もが気軽に健康づくりを楽しめるにぎわいと交流のスポーツプラザ」を実現するため、前記の整備方針1から8を踏まえつつ、以下の4つの考え方に基づいて施設の管理運営を進めます。

(1) 多くの市民の利用を促すための施設運営

- スポーツや健康に関する豊富な情報提供や相談・指導に応じることができる運営体制づくり
- 一人でも利用できるような多様なプログラムの企画・実施
- 新体育館やスポーツに親しみが持てるようなイベント等の開催や施設利用促進のためのPR活動

(2) 誰もが利用しやすい市民本位の施設運営

- 市民にとって使い勝手のよい施設利用方法やその体制のあり方についての検討
- 乳幼児のいる親への支援や高齢者の健康維持・増進の支援、障害のある人のスポーツ活動の支援などの検討

(3) 市民参加型の施設運営とそのための人材育成

- 体育協会や現在創設準備を進めている総合型地域スポーツクラブ等への事務・会議スペースの提供
- スポーツ指導者養成の支援やスポーツ活動の開発と普及をするためのコーチ・トレーナーなど指導員の派遣支援

(4) 効率的で持続可能な施設運営

- 施設使用料収入の安定的な確保のための新規利用者の拡大と利用頻度向上の検討
- 新たな施設内容やサービス内容に合った適正な使用料の設定
- 指定管理者制度の活用にあたっての利用料金制採用の検討
- 周辺市町の体育施設との広域的な協力・連携



■事業スケジュール

| 年度 (四半期) | 平成 26 年度 | | | | 平成 27 年度 | | | | 平成 28 年度 | | | | 平成 29 年度 | | | | 平成 30 年度 | | | |
|---------------|----------|------|------|------|----------|------|------|------|----------|------|-------|------|----------|------|-------------|------|----------|------|------|------|
| | 1/4期 | 2/4期 | 3/4期 | 4/4期 | 1/4期 | 2/4期 | 3/4期 | 4/4期 | 1/4期 | 2/4期 | 3/4期 | 4/4期 | 1/4期 | 2/4期 | 3/4期 | 4/4期 | 1/4期 | 2/4期 | 3/4期 | 4/4期 |
| 基本計画、 設計など | 選定業者 | | 基本設計 | | 実施設計 | | | | 選定業者 | | 施工・管理 | | | | 解体・ 周辺整備 | | 開館準備 | | 開館 | |

※H30年10月頃開館予定



江南市マスコットキャラクター
藤花（ふじか）ちゃん

江南市新体育館建設基本計画（概要版） 平成 26 年 3 月

<発行> 愛知県江南市 〒483-8701 江南市赤童子町大堀 90 番地 TEL：(0587) 54-1111（代表）
<編集> 教育部生涯学習課